

平成 28 年 6 月 24 日

株 主 各 位

会 社 名 株式会社 南 陽
代表者名 取締役社長 武内英一郎
(コード番号：7417 福証)
問合せ先 取締役管理本部長兼
経営企画室長 篠崎 学
T E L 092-472-7331

第 62 期報告書記載内容の一部訂正について

当社「第 62 期 報告書」につきまして、その一部に訂正すべき点がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

訂正箇所

第 62 期 報告書 5 ページ (訂正箇所は下線部分のとおりであります。)
連結事業のご報告
事業別営業概況

<訂正前>

(省略)

産業機器事業におきましては、これまで好調に推移してきたスマートフォンの需要が飽和状態に近づくとともに、新興国経済の減速に伴う投資マインドの低下により、多くの取引先が設備投資については慎重な姿勢を維持するなど、踊り場の中で推移いたしました。好調が続く車載用デバイスに関わる案件や省力化投資に向けた案件獲得に努めるとともに、新たな生産部品・消耗部品の開拓と拡販にも努めてまいりました。この結果、ロボット分野などの省力化投資は底堅く推移したものの、スマートフォン分野については陰りが見え始めたことにより、売上高は 19,216 百万円（前期比 1.5%減）、セグメント利益は 714 百万円（前期比 4.8%減）となりました。

<訂正後>

(省略)

産業機器事業におきましては、これまで好調に推移してきたスマートフォンの需要が飽和状態に近づくとともに、新興国経済の減速に伴う投資マインドの低下により、多くの取引先が設備投資については慎重な姿勢を維持するなど、踊り場の中で推移いたしました。好調が続く車載用デバイスに関わる案件や省力化投資に向けた案件獲得に努めるとともに、新たな生産部品・消耗部品の開拓と拡販にも努めてまいりました。この結果、ロボット分野などの省力化投資は底堅く推移したものの、スマートフォン分野については陰りが見え始めたことにより、売上高は19,216百万円（前期比1.5%減）、セグメント利益は786百万円（前期比4.9%増）となりました。

以 上